

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月6日

【四半期会計期間】 第68期第2四半期(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

【会社名】 立川ブラインド工業株式会社

【英訳名】 TACHIKAWA CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 立川光威

【本店の所在の場所】 東京都港区三田三丁目1番12号

【電話番号】 03-5484-6142

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 金箱 聡

【最寄りの連絡場所】 東京都港区三田三丁目1番12号

【電話番号】 03-5484-6142

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 金箱 聡

【縦覧に供する場所】 立川ブラインド工業株式会社 関東支店
(埼玉県さいたま市北区本郷町787番地)

立川ブラインド工業株式会社 千葉支店
(千葉県千葉市中央区松波二丁目8番1号)

立川ブラインド工業株式会社 横浜支店
(神奈川県横浜市中区日本大通15番地)

立川ブラインド工業株式会社 名古屋支店
(愛知県名古屋市西区児玉三丁目4番4号)

立川ブラインド工業株式会社 大阪支店
(大阪府大阪市北区中津二丁目3番5号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第67期 第2四半期 連結累計期間		第68期 第2四半期 連結累計期間		第67期	
	自 至	平成24年1月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年1月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年1月1日 平成24年12月31日
売上高 (千円)		18,913,075		18,794,171		38,134,777
経常利益 (千円)		981,618		1,002,827		1,766,612
四半期(当期)純利益 (千円)		352,858		501,222		667,944
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		459,939		727,199		939,224
純資産額 (千円)		30,786,804		31,753,278		31,146,091
総資産額 (千円)		44,177,025		44,548,179		44,064,469
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		18.13		25.75		34.32
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		—		—		—
自己資本比率 (%)		60.5		62.1		61.4
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)		260,810		695,621		1,873,589
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)		△174,270		△597,145		△957,974
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)		△140,858		△164,655		△301,493
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)		8,155,261		8,753,312		8,816,373

回次 会計期間	第67期 第2四半期 連結会計期間		第68期 第2四半期 連結会計期間	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)		0.57		2.80

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社および当社の関係会社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済政策の効果による円高是正や株価上昇等を背景に、景気回復への期待感が高まりましたが、欧州財政問題の長期化や海外経済の下振れ等、国内景気を下押しするリスクを抱えた状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、低金利環境に加えて住宅ローン減税等もあり、住宅着工戸数は前年を上回るなど回復基調が続くものの、依然として低水準で推移しており、当社を取り巻く環境は厳しい状況でありました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、新たに発売した製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、他社との差別化を図るため、設計仕様の見直しを行うとともに、営業提案力とコスト競争力の強化に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、積極的な製品開発を推進するとともに、顧客満足度の向上と生産効率の改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18,794百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は937百万円（前年同期比2.5%減）、経常利益は1,002百万円（前年同期比2.2%増）、四半期純利益は501百万円（前年同期比42.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

昨年発売した高い遮蔽性が好評の高機能ブラインド「パーフェクトシルキー」に新たな操作仕様を追加したほか、スラット（羽根）や木部材等を自由に組み合わせて楽しめるカスタマイズブラインド「フォレティア」（木製スラット）・「アフタービート」（アルミ製スラット）において、遮蔽性や操作性が向上した高機能ラインナップ『フォレティアエグゼ』および『アフタービートエグゼ』を新たに発売しました。さらに、カラフルな人気カラーシリーズ「マカロン」の生地遊び心溢れる楽しいデザインをプリントした『マカロンキッズ』を発売するなど、より一層の製品ラインナップの拡充を図りました。

また、5月から全国28都市において「Quality—窓から生まれる心地よい空間—」をテーマとした新製品発表会（9月まで）を開催し、新製品等の早期市場浸透に取り組んでまいりました。

以上により、売上高は16,496百万円（前年同期比1.5%増）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による一層の収益改善に努めた結果、880百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

顧客のニーズに合わせた積極的な提案型営業を行い、改造・改修工事は堅調に推移しましたが、依然として新設需要の減少が続き、売上高は897百万円（前年同期比27.2%減）となりました。営業利益につきましても、継続的な原価低減に努めましたが、21百万円（前年同期比75.1%減）となりました。

[減速機関連事業]

当社グループの強みを活かした特殊減速機を中心に展示会へ出展し、他社との差別化をアピールするなど、積極的な販促活動を展開したものの、企業の設備投資が伸び悩むなど厳しい受注環境が続き、売上高は1,399百万円（前年同期比1.8%減）となりました。営業利益につきましても、原価低減と生産性の向上に努めましたが、35百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は44,548百万円で、前連結会計年度末と比較し483百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は26,676百万円で、前連結会計年度末と比較し225百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は17,872百万円で、前連結会計年度末と比較し258百万円の増加となりました。これは主に、ソフトウェア取得による無形固定資産の増加および保有株式の時価の上昇等による投資有価証券の増加によるものであります。

(負債)

負債は12,794百万円で、前連結会計年度末と比較し123百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加した一方で、未払金および退職給付引当金が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は31,753百万円で、前連結会計年度末と比較し607百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加および四半期純利益によるものであります。なお、自己資本比率は62.1%と、前連結会計年度末と比較し、0.7ポイントの増加となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ63百万円減少し、8,753百万円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、695百万円の増加（前年同期は260百万円の増加）となりました。

これは税金等調整前四半期純利益999百万円に対し、法人税等の支払額422百万円、売上債権の増加額192百万円等による減少があった一方で、減価償却費463百万円等による増加があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、597百万円の減少（前年同期は174百万円の減少）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出445百万円、無形固定資産の取得による支出154百万円等があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、164百万円の減少（前年同期は140百万円の減少）となりました。

これは主に、配当金の支払い120百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は404百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月6日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,763,600	20,763,600	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	20,763,600	20,763,600	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日	—	20,763,600	—	4,475,000	—	4,395,000

(6) 【大株主の状況】

平成25年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
有限会社立川恒産	東京都渋谷区代々木2丁目16-4	4,117	19.83
タチカワブラインド取引先持株会	東京都港区三田3丁目1-12	2,145	10.33
更生保護法人立川更生保護財団	東京都港区三田3丁目1-12	1,331	6.41
立川 溥	神奈川県横浜市西区	592	2.86
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7-1	553	2.67
タチカワ社員持株会	東京都港区三田3丁目1-12	513	2.47
株式会社りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町2丁目2-1	460	2.22
立川 光威	東京都調布市	437	2.11
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6	415	2.00
三菱商事RtMジャパン株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目2-3	410	1.98
計	—	10,976	52.87

(注) 当社は自己株式1,300千株(6.27%)を保有しておりますが、上記の表には記載されておられません。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,300,900	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,417,800	194,178	—
単元未満株式	普通株式 44,900	—	—
発行済株式総数	20,763,600	—	—
総株主の議決権	—	194,178	—

(注)1 「完全議決権株式数(その他)」の欄には証券保管振替機構名義の株式100株(議決権1個)含まれております。

(注)2 「単元未満株式」には当社所有の自己株式45株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 立川ブラインド工業株式会社	東京都港区三田 3丁目1-12	1,300,900	—	1,300,900	6.27
計	—	1,300,900	—	1,300,900	6.27

2 【役員 の 状 況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の変動は、次のとおりであります。

役職の変動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役技術本部長	常務取締役経営企画室長	竹中 伸也	平成25年4月23日
取締役製造本部長	取締役製造本部長 兼技術本部長	山本 浩司	平成25年4月23日
取締役管理本部長 兼経営企画室長兼社長室長	取締役管理本部長 兼社長室長	金箱 聡	平成25年4月23日

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,876,796	8,813,751
受取手形及び売掛金	※2 11,606,804	※2 11,831,841
商品及び製品	757,999	547,143
仕掛品	1,196,068	1,255,815
未成工事支出金	105,440	57,761
原材料及び貯蔵品	2,837,393	3,057,006
その他	1,105,025	1,123,090
貸倒引当金	△34,586	△10,248
流動資産合計	26,450,942	26,676,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,615,436	12,643,708
減価償却累計額	△7,752,322	△7,908,869
建物及び構築物（純額）	4,863,113	4,734,838
土地	7,314,565	7,331,285
その他	13,859,970	14,202,662
減価償却累計額	△12,466,564	△12,664,781
その他（純額）	1,393,405	1,537,881
有形固定資産合計	13,571,085	13,604,006
無形固定資産	424,825	550,327
投資その他の資産		
投資有価証券	1,423,721	1,686,339
その他	2,260,426	2,091,724
貸倒引当金	△66,531	△60,380
投資その他の資産合計	3,617,616	3,717,683
固定資産合計	17,613,527	17,872,016
資産合計	44,064,469	44,548,179

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※2 6,389,298	※2 6,637,331
未払法人税等	413,428	326,562
賞与引当金	176,372	224,552
役員賞与引当金	62,294	27,287
製品保証引当金	3,027	3,657
その他	※2 2,061,893	※2 1,916,625
流動負債合計	9,106,315	9,136,016
固定負債		
退職給付引当金	3,253,461	3,117,894
役員退職慰労引当金	287,907	288,437
その他	270,695	252,553
固定負債合計	3,812,063	3,658,885
負債合計	12,918,378	12,794,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,000	4,395,000
利益剰余金	18,850,480	19,254,388
自己株式	△666,256	△666,377
株主資本合計	27,054,224	27,458,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,278	157,561
繰延ヘッジ損益	2,424	1,075
為替換算調整勘定	△4,526	31,360
その他の包括利益累計額合計	△3,380	189,996
少数株主持分	4,095,247	4,105,270
純資産合計	31,146,091	31,753,278
負債純資産合計	44,064,469	44,548,179

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	18,913,075	18,794,171
売上原価	11,014,437	10,975,804
売上総利益	7,898,638	7,818,367
販売費及び一般管理費	※ 6,936,714	※ 6,880,493
営業利益	961,924	937,873
営業外収益		
受取利息	1,527	1,411
受取配当金	22,070	24,037
不動産賃貸料	18,651	13,627
為替差益	3,392	38,061
その他	33,877	44,560
営業外収益合計	79,519	121,697
営業外費用		
支払利息	8	12
手形売却損	15,614	13,344
売上割引	36,632	37,707
その他	7,569	5,679
営業外費用合計	59,824	56,744
経常利益	981,618	1,002,827
特別利益		
固定資産売却益	35,724	248
特別利益合計	35,724	248
特別損失		
固定資産除売却損	36,572	3,396
減損損失	60,828	—
投資有価証券評価損	6,810	—
投資有価証券売却損	15	—
特別損失合計	104,226	3,396
税金等調整前四半期純利益	913,117	999,679
法人税、住民税及び事業税	384,211	335,922
法人税等調整額	134,240	140,245
法人税等合計	518,451	476,167
少数株主損益調整前四半期純利益	394,665	523,512
少数株主利益	41,806	22,289
四半期純利益	352,858	501,222

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	394,665	523,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,143	169,150
繰延ヘッジ損益	217	△1,349
為替換算調整勘定	4,912	35,886
その他の包括利益合計	65,274	203,687
四半期包括利益	459,939	727,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	420,829	694,599
少数株主に係る四半期包括利益	39,109	32,600

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	913,117	999,679
減価償却費	428,883	463,935
負ののれん償却額	△711	△711
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40,823	48,180
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21,857	△35,007
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△108,609	△135,567
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5,874	530
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	3,283	630
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△76,660	△30,488
固定資産除売却損益 (△は益)	847	3,147
減損損失	60,828	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	6,810	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	15	—
受取利息及び受取配当金	△23,597	△25,448
支払利息	8	12
為替差損益 (△は益)	△2,424	△3,656
売上債権の増減額 (△は増加)	△279,510	△192,427
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△353,993	△2,502
仕入債務の増減額 (△は減少)	40,268	211,712
その他	△12,216	△213,237
小計	609,432	1,088,780
利息及び配当金の受取額	23,548	25,463
利息の支払額	△13	△6
法人税等の支払額	△372,156	△422,123
法人税等の還付額	—	3,508
営業活動によるキャッシュ・フロー	260,810	695,621
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△280,720	△445,420
有形固定資産の売却による収入	155,055	315
無形固定資産の取得による支出	△87,766	△154,964
投資有価証券の売却による収入	403	—
投資有価証券の取得による支出	△297	△297
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,289	3,238
定期預金の純増減額 (△は増加)	40,345	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△174,270	△597,145

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△21,089	△43,834
配当金の支払額	△97,534	△98,028
少数株主への配当金の支払額	△22,133	△22,676
その他	△101	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△140,858	△164,655
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,859	3,118
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△50,459	△63,061
現金及び現金同等物の期首残高	8,205,721	8,816,373
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 8,155,261	※ 8,753,312

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。	
これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形割引高	2,124,239千円	1,855,799千円

※2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理をしております。したがって当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	248,711千円	232,301千円
支払手形	434,258千円	355,544千円
設備関係支払手形	9,675千円	1,195千円
受取手形割引高	44,237千円	45,797千円

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
貸倒引当金繰入額	4,233千円	△24,879千円
製品保証引当金繰入額	3,483千円	988千円
役員報酬及び給料手当	2,435,625千円	2,515,322千円
賞与引当金繰入額	151,234千円	154,118千円
役員賞与引当金繰入額	26,793千円	26,703千円
退職給付費用	315,693千円	325,261千円
役員退職慰労引当金繰入額	13,273千円	29,887千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
現金及び預金	8,205,524千円	8,813,751千円
預入期間が3か月超の定期預金	△50,262千円	△60,439千円
現金及び現金同等物	8,155,261千円	8,753,312千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	97,316	5.00	平成23年12月31日	平成24年3月30日

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年8月7日 取締役会	普通株式	利益剰余金	97,315	5.00	平成24年6月30日	平成24年9月10日

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	97,314	5.00	平成24年12月31日	平成25年3月29日

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年8月6日 取締役会	普通株式	利益剰余金	97,313	5.00	平成25年6月30日	平成25年9月9日

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,253,726	1,233,588	1,425,761	18,913,075	—	18,913,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	47,535	47,535	△47,535	—
計	16,253,726	1,233,588	1,473,296	18,960,611	△47,535	18,913,075
セグメント利益	829,498	87,900	44,524	961,924	—	961,924

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,496,893	897,437	1,399,840	18,794,171	—	18,794,171
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	23,078	23,078	△23,078	—
計	16,496,893	897,437	1,422,919	18,817,250	△23,078	18,794,171
セグメント利益	880,219	21,913	35,740	937,873	—	937,873

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループの利用しているデリバティブ取引は為替予約取引のみであり、この取引についてはヘッジ会計を適用しているため、開示の対象から除いております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	18円13銭	25円75銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	352,858	501,222
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	352,858	501,222
普通株式の期中平均株式数(株)	19,463,265	19,462,775

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第68期(平成25年1月1日から平成25年12月31日まで)中間配当については、平成25年8月6日開催の取締役会において、平成25年6月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議しました。

- ①中間配当金総額 97,313千円
- ②1株当たりの額 5円00銭
- ③支払請求権の効力発生日および支払開始日 平成25年9月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月6日

立川ブラインド工業株式会社

取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 並 木 健 治 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 野 秀 俊 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている立川ブラインド工業株式会社の平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、立川ブラインド工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。